

- 朝起きると霧雨が降っていてすごいガスが立ち込めている。
- 朝食はまた昨晚と同じく家族と一緒に。ただ食パンにコーヒーというハイカラな朝食。
- 雨は止んできたが、依然としてガスは濃い。テレビで旭岳の中継を流しているがガスはない。とにかく行ってみることにした。7時すぎにご夫婦の見送りを受けて宿を後にする。

- 十勝岳温泉を目指して車の全く走っていない舗装道路を飛ばす。道の真ん中にべちゃんこに張り付いたキタキツネが2匹、引かれているのかと思ったが、車が近づくとヌックと立ち上がった。なんだ寝ていたのか！



ヌックと立ち上がったキタキツネ

- こうやって車を止めて餌をねだるキタキツネが増えているという、キツネ知恵とでもいうのだろうか。



旭岳温泉駐車場

- 道はどんどん高度を上げて行き突然雲の上に飛び出したとたんに旭岳が眼前に飛び込んできた。上は晴れているのだ。なんとロープウェイの駅に着いたら旭岳が眼前にくっきりとその雄姿を見せた。
- 夏休み前の平日、平野部では天気が悪いという条件のためか観光客は殆どいない。
- ロープウェイは ガラガラだ。姿見平に降り立ったらそこはまさにお花畑のど真中、満開の花々に迎えられた。

- 中でも始めて見るエゾノツガザクラの艶やかさにうっとりさせられた。霧の中思い切って来てよかった。



エゾノツガザクラ



花満開の姿見平

- 旭岳の登りにかかる。白い水蒸気を勢よく吹上げる谷間を左手に、火山礫のざれ道を登ってゆく。登りはじめには晴れていたが、大雪山の最高峰・旭岳頂上に立ったころにはガスがかかりあまり眺望がない。頂上には数人いるだけで寂しいが静かである。時折晴れるガスの間から今登って来た姿見平方面や大雪山の東の方、後日登る予定の白雲岳方面が望まれる。



旭岳山頂



山頂から東方の眺望(ガスの中)

- ・下山して荒々しい噴気孔や咲き乱れる花々を見ながら姿見平を散策、時折太陽も顔を出し途中の休憩所で昼食をとりながらのんびりと歩く。
- ・まああの天気に恵まれた旭岳だった。



姿見の池



旭岳をバックに

- ・今日の宿泊予定地「十勝岳温泉の白銀荘」へ向かう。途中から本格的なガスの中に突入し一寸先も見えないほど。濃いガスの中、道を探りながらやっとのことで白銀荘を探し当てる。十勝岳温泉といっても少し手前の吹上温泉と言うところに建つ鉄筋作りの立派な建物で、本当の名を「吹上温泉保養センター白銀荘」という。宿泊は素泊まりのみでスキーヤーズベッド形式。屋内の自炊場は流しから炊事用具更には電子レンジまで完全装備、片隅に食堂もある。吹上温泉と言うだけあって立派な日帰り温泉も併設、宿泊者は自由に入浴できる。宿泊費2600円は安い。
- ・風呂上りの夕食はコンビニで買ってきたカレーライスをビール3缶で流し込む。ほろ酔い気分で明日の富良野岳を期待しながら眠りについた。

[見られた花]

12種(名前のわかったもの 10種 + 名前不詳 2種)

- ・エゾノツガザクラ ・キバナシャクナゲ ・チングルマ
- ・エゾコザクラ ・メアカンキンバイ ・マルバシモツケ
- ・ジムカデ ・イワヒゲ ・イソツツジ ・ショウジョウバカマ



エゾコザクラ